

トリプルPによるポピュレーションレベルでの 児童虐待防止トライアル(アメリカ)



- スポンサーは、US Centers for Disease Control and Prevention (CDC)。
- Source: Prinz, R. J., Sanders, M. R., Shapiro, C. J., Whitaker, D. J., & Lutzker, J. R. (Accepted for publication). Population-based prevention of child maltreatment: The U.S. Triple P System Population Trial. *Prevention Science*.

18郡におけるランダムイズ試験

- 各郡は人口50,000～175,000人。
- 児童虐待率、貧困レベル、人口サイズを合わせた。
- トリプルP群と対象群（通常のプログラム）に、18郡を無作為に分けた。
- どの群もトリプルPは初めて。
- トリプルP群は約85,000人
- 児童虐待防止を目的とした、最初のポピュレーションレベルでの無作為化試験



多様なアクセスポイントの設置

親が容易にアクセスできるために・・・

- 多岐にわたる専門家が対応(家庭に関わる専門家)
- トリプルPファシリテーターを697名養成
(保健システム担当者、メンタルヘルス関係者、幼稚園/保育園
教員、親教育担当者、スクールカウンセラー、NGOスタッフ(
就学前子どもや児童虐待防止関係)、聖職者
- 親が日常的にコンタクトできる場所/方法を含めた

方法

下記全てのトリプルPシステムを一斉に実施

- メディア/コミュニケーションアプローチ(レベル1)
- 親向けセミナー(レベル2)
- 短時間の短いコンサルテーション(レベル2 & 3)
- 集中プログラム(レベル4 & 5)

5年間の調査結果

- 8歳以下の子どもをもつ10万人の家庭を対象に、実施。
- 以下の結果が見られた
 - － 確認された児童虐待が年間688人減った。
 - － 施設に収容される子どもが年間240人減った。
 - － 児童虐待によって入院する子どもが年間60人減った。